

応募要項

都市・まちづくりコンクール実行委員会
株式会社 総合資格 事務局

■主旨

都市・まちづくりについては社会構造の変化、少子高齢化、大災害対策などにより、常に改変を求められるものであります。また、その目的も成果も多種多様であり、単にそこに存在する人々の「活性化」や「賑わい」だけが求められるものではなく、環境改善への貢献、歴史的意義やサステナブル都市としての要求等も常に求められる非常に有機的で難解な研究領域であります。こうした領域に取り組む学生の育成を図る目的で、自ら問題意識を見出した課題において、真摯に向き合い、様々なアイデアと努力により創り上げた力ある作品を募集します。学生達が生み出した景観や創造価値と作品に込められた熱意を評価し、また、他学との交流を通じて、さらに視野を広げてもらうことを期待します。加えて、一般の方にも公開し、都市・まちづくりに対する理解、関心を深めます。

■課題

「混」

①水の盛んに流れるさま。②まぜる。まじる。まじわる。
③あわせる。あう。④もののわかれぬさま。けじめのないさま。⑤大きい。(角川漢和辞典)

異なる要素を混ぜると「混乱」を引き起こしがちです。土地利用を純化させて相互に悪影響を及ぼせないことが、都市計画の常識でした。でもそのことが、退屈で不便な街を作ってしまうかもしれません。逆に、異質の要素が互いに刺激し合い魅力を高め合うことがあります。両者の間に別の新しい「場」がうまれることも期待できます。異質のものが混じり合って、それぞれの魅力を残しながら「混然一体」となって新しい魅力を生み出すことができるかもしれません。建築のデザインでは、様式の混交や、「混構造」もあります。

「混」を否定的にとらえるのではなく、建築や都市デザインの魅力ある「混」のかたちやシステムを提案してください。計画の範囲と規模は自由ですが、建築物および周辺環境計画を含めた提案を求めます。

■応募者・応募資格

応募者および応募の資格は次の通りとする。

1. 応募対象は学生による個人もしくはグループの作品とし、グループの場合人数は問わないが、1名の代表者を選定することとする。(重複参加不可)
2. 応募者は建築・都市計画系の大学・専門学校等に在籍する学生とし、社会人の参加は不可とする。また、卒業制作等と兼ねても構わない。(後記の参加要請大学以外の学生も応募可)
3. 応募作品は、指定の期日までに、公式ホームページ申込フォームにて応募されたものに限る。
4. 代表者は、原則として審査・講評、および表彰・懇親会に出席できる者とする。
5. その他、次に示す内容に抵触した場合は、応募、出品を取り消す場合がある。

- ①募集要項や、課題から逸脱した作品・仕様である場合
- ②申込フォームに記した内容が著しく不十分な場合、または、出展作品との間に重大な相違がある場合
- ③要求される作品の仕様に欠落、または、重大な相違がある場合
- ④他作品や既作品の既権利を、類似等によって侵害する恐れがある場合
- ⑤作品の内容が、他者を誹謗中傷する内容を含む場合
- ⑥その他、実行委員会、事務局が応募に不適切であると判断する場合

■応募方法

次に示す期日までに、コンクールWEB申込フォーム (<http://www.toshi-machi.jp>) 上にて応募すること。尚、応募作品が会場展示不可能数に達した場合のみ、本審査への出展を選抜するための事前審査を行う場合がある。事前審査の実施がある場合はデータ提出締切日までに連絡をする。

応募締切：2018年2月15日(木) 17:00

■応募作品について

応募作品の仕様等については次の通りとする。また、データの送信アドレスは以下の通りである。

◎データ送信先：info@toshi-machi.jp

1. 「選定エリアと選定理由」「計画の要旨」について
A4サイズにまとめたもの各1枚ずつ 計2枚
(2枚を超えて提出した場合はうち2枚のみ審査する)

<データ提出期限…2018年2月22日(木) 17時>

- ①A4縦サイズ版とし、余白については上下左右15mm以上を確保すること。
- ②文字サイズは10pt以上とする。
- ③文章は黒字とし、必要に応じて図表等を挿入してもよい。(カラー可、挿入する図表は解像度250dpi程度)
- ④ファイル形式は原則PDF形式にて提出すること。
- ⑤上記事項を遵守した上で、データを上記アドレスまで送信すること。サイズが大きい場合はオンラインストレージを使用しても良いが、1つのファイルにつき10MB程度まで圧縮をすること。(保存期限は7日以上)
- ⑥受信したデータについては、原則そのまま印刷し、審査に使用する為、正しく出力されるか、リンクが残っていないか等事前に確認の上、送信すること。

2. 本課題において、対象の計画方針、提案内容を可視化できるように表現したプレゼンボード(A1サイズのパネル1枚を縦長にて作成、レイアウト自由)

<提出期限…搬入当日 2018年3月12日まで>

- ①内容、書体等、自由とする。
- ②紙状、パネル状等形式は自由。
ただし当日、掲示が出来る状態に作製しておくこと。
- ③模型の使用も可とする。ただし、横1200mm・奥行1100mm以内とする。

3. 別途、上記2のプレゼンボードの内容PDFデータ

<データ提出期限…2018年2月22日(木)17時>

- ①データはA3サイズに圧縮し、サイズは最少限にすること。
- ②受信したデータについては、フォントのアウトライン化等事前に確認の上送信すること。
- ③ファイル形式は原則PDF形式にて提出すること。
- ④上記事項を遵守した上で、データを上記アドレスまで送信すること。データサイズが重い場合は、オンラインストレージを使用しても良いが、1つのファイルにつき10MB程度まで圧縮をすること。(保存期限は7日以上)
- ⑤データ入稿後、審査当日掲示のためのプレゼンボードの加筆・修正、作品の質的向上のための手直しは構わない。但し、「選定エリアと選定理由」「計画の要旨」については、提出後の変更は不可とする。
- ⑥データ入稿後、3日以内に事務局から受付連絡が来なかった場合下記に電話連絡をすること。

◆運営事務局：03-3340-2812 (榎総合資格内)

■審査方法について

審査については、次の通りとする。

1. 応募作品が会場展示不可能数に達した場合、本審査への出展を選抜するための事前審査を行う可能性がある。事前審査は実施がある場合はデータ提出締切日までに連絡をする。
2. 1次審査については、出展者立ち会いによる巡回審査とし、審査員が「提出データ」「当日掲示されるプレゼンボード」「模型」「出展者に対する質疑応答」をあわせて審査する。投票・審議によって上位10作品程度を選ぶ。(変動有)
3. 最終審査は各自5分のプレゼンテーションおよび10分程度の質疑応答を行い、審査員による最終審査にて、最優秀、優秀2作品の計3作品を選出する。審査員賞については原則計7作品を選出する。審査委員賞は最終審査に残らなかったものも含めて選定する。

■表彰について

表彰・賞金については、次の通りとする。

- 最優秀賞 1作品…賞状、記念品、及び賞金20万円
優秀賞 2作品…賞状、記念品、及び賞金10万円
総合資格賞 1作品…賞状、及び賞金5万円
審査員賞 7作品…賞状、及び賞金2万円
奨励賞 全作品…記念品

■コンクール会場

明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント 1階多目的室
JR中央線・東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分

■日程

応募締切	2018年2月15日(木)17時
データ提出締切	2018年2月22日(木)17時
作品搬入	2018年3月12日(月)時間は後日指定
審査・表彰	2018年3月13日(火)9時半～18時(予定)
懇親会	2018年3月13日(火)18時～19時半(予定)
撤収	2018年3月13日(火)～21時(予定)

■応募作品の権利について

応募作品の権利については、次の通りとする。

1. 応募内容・作品に関する知的財産権は必要に応じて、応募者自身で権利保護等の手続きをすること。
2. 応募作品ならびにその内容の公表・展示に関する権利は事務局が優先保持するものとする。また、卒業制作等、自学内における同権利については、事務局はその可否を問わない。

■作品の搬入・撤収について

3月12日(月)の作品の搬入・3月13日(火)の作品撤収が困難な場合は、事務局まで事前に申し出ること。また、搬入・撤収を事務局が代行する場合は、送料等の実費を請求する。

■参加要請大学(地域、50音順)

- 札幌市立大学
- 北海道学園大学
- 北海道大学
- 北海道科学大学
- 室蘭工業大学
- 秋田県立大学
- 東北大学
- 東北芸術工科大学
- 東北工業大学
- 八戸工業大学
- 宮城大学
- 足利工業大学
- 宇都宮大学
- 神奈川大学
- 関東学院大学
- 慶應義塾大学
- 工学院大学
- 国士舘大学
- 埼玉大学
- 芝浦工業大学
- 首都大学東京
- 昭和女子大学
- 多摩美術大学
- 千葉大学
- 千葉工業大学
- 筑波大学
- 東海大学
- 東京大学
- 東京藝術大学
- 東京工業大学
- 東京電機大学
- 東京都市大学
- 東京理科大学
- 東洋大学
- 日本大学
- 日本工業大学
- 日本女子大学
- 法政大学
- 前橋工科大学
- 武蔵野美術大学
- 明治大学
- ものづくり大学
- 横浜国立大学
- 早稲田大学
- 愛知工業大学
- 愛知産業大学
- 岐阜女子大学
- 静岡文化芸術大学
- 中部大学
- 豊橋技術科学大学
- 名古屋大学
- 名古屋工業大学
- 名古屋市立大学
- 三重大学
- 名城大学
- 金沢大学
- 金沢工業大学
- 信州大学
- 長岡技術科学大学
- 長岡造形大学
- 新潟大学
- 新潟工科大学
- 福井大学
- 福井工業大学
- 大阪大学
- 大阪工業大学
- 大阪産業大学
- 大阪市立大学
- 大阪人間科学大学
- 関西大学
- 関西学院大学
- 京都大学
- 京都工芸繊維大学
- 京都府立大学
- 近畿大学
- 神戸大学
- 神戸芸術工科大学
- 滋賀県立大学
- 摂南大学
- 奈良女子大学
- 武庫川女子大学
- 立命館大学
- 和歌山大学
- 岡山理科大学
- 鳥取環境大学
- 広島大学
- 広島工業大学
- 山口大学
- 高知工科大学
- 大分大学
- 鹿児島大学
- 北九州市立大学
- 九州大学
- 九州工業大学
- 九州産業大学
- 熊本大学
- 熊本県立大学
- 久留米工業大学
- 佐賀大学
- 崇城大学
- 長崎総合科学大学
- 西日本工業大学
- 日本文理大学
- 福岡大学
- 琉球大学

※他に都市計画系研究を主体とする四年生大学の学生、またはそれに準ずる専門学校(専修学校)の学生も可とする。

■審査員長

小林 英嗣(北海道大学名誉教授・日本都市計画家協会会長)

■審査員(敬称略・五十音順)

- 江川 直樹 関西大学教授
- 角野 幸博 関西学院大学教授
- 川口 とし子 長岡造形大学教授
(有)アーキスタジオ川口一級建築士事務所
- 小林 正美 明治大学副学長(株)アルキメディア設計研究所主宰
- 柴田 久 福岡大学教授
- 中野 恒明 芝浦工業大学名誉教授(株)アブル総合計画事務所主宰

■共催

明治大学理工学部建築学科